

# 一般質問



水上 務 議員

**質問1** 工業地域から住宅専用地域に用途変更すべきと考えますが、現状でも住宅や共同住宅の建築、宅地造成が対応可能

**市長**

**問** 谷好2丁目2番地〜4番地の一部が工業地域に指定されています。

現在、工場の配置がなくなり、車庫及びグラウンド、その他となっています。

そこで、工業地域から住居専用地域へ用途変更され、住宅建設ができるようにするべきと考えますが、市長の考えについてお尋ねします。

**答(市長)** 都市計画法上、工業地域は、住宅や店舗、事務所や工場・倉庫などが建築可能であることから、幅広い土地利用が見込まれるのに対し、住居専用地域は、住宅や一部店舗などは建築可能ですが、事務所や工場・倉庫などは、ほぼ建築できないという制限があります。

谷好地区の工業地域については、現状で住宅や共同住宅などの建築ができますし、宅地造成を行うこともできますので、現状の用途地域のままでも対応可能であると認識しています。

**問** この地域をなぜ住宅専用地域にしてほしいかというと、谷川小学校の児童数

が、年々減り、去年は1年生が11人となっています。児童が減り、学校の価値がなくなってくると、その地域の発展にも影響をします。

したがって、児童数を減らさないようにするためには、国道からも近く、住宅の場所として非常に良いこの地域を工業地域から住宅専用地域に用途変更をして、住宅を建てやすくすべきと考えますができませんか。

**答(市長)** 工業地域のままでも住宅は建築できますし、どちらかと言うと現状のままの方が扱いやすい状況です。

危惧されている子どもの減少に関しては、教育委員会とも相談をして谷好地区だけの問題ではなく北斗市全体の問題として捉えていきたいと思っています。



谷川小学校へ登校する児童たち

**質問2** 三ツ石、当別、茂辺地区への巡回ワゴンの運行実施は、実証運行に向けた運行計画に関する協議を行っている

**市長**

**問** 三ツ石、当別、茂辺地区への巡回タクシーの運行を実施すべきと考えます。

市長の考えについてお尋ねします。

**答(市長)** 公共交通は、市民の日常生活における移動手段として欠かすことができないものであり、人口減少等に伴う採算面の問題や、高齢化に伴う運転免許証の自主返納など、将来のニーズを見通し、早急な対応を検討する必要があると認識しており、本市においては、交通事業者や関係機関、学識経験者、市民の代表者からなる北斗市地域公共交通活性化協議会において、本年3月、北斗市地域公共交通計画を策定したところです。

現在、本協議会において、実証運行に向けた巡回ワゴンの運行計画に関する具体的な協議が行われているところですが、運行エリアの一つとして、茂辺地、石別地区に居住している方が、両地区の駅や茂辺地支所、富川会館などを經由し、上磯駅前商店街や上磯駅まで移動できるルートを設定する予定です。

この運行計画では、既存の広域幹線交通である道南いさりび鉄道や函館バスとの乗り継ぎ利用を想定したライダー系統路線としての機能を果たすルートとダ

イヤを設定することとしています。

今後、本協議会において、運行事業者や運行ルート、ダイヤ、運賃等を協議し、6月中旬に運行計画を決定し、国への事業認定申請を行い、本年10月から、実証運行を開始したいと考えています。

また、実証運行の開始に当たっては、広報誌等による周知や地域の皆さまに対する説明会を開催し、利用促進を図り、地域が一体となって、将来にわたり持続可能な公共交通ネットワークの再構築に向けた取り組みを促進してまいります。

**問** 巡回ワゴンは、乗車場所を函館バスのバス停の間隔ではなく、200mか300mおきに停めることを考えているのか。

**答(企画課長)** 協議会においてもフリー乗降を検討してきていますが、現時点では運輸支局の方の専門的な意見なども踏まえ、函館バスのバス停も利用しながら、公共施設などの主要な場所に巡回ワゴンのバス停を設置しての乗降を基本とする運行となっています。

**問** 実証運行時の1日の運行本数、時間帯はどのようになっているのか。

**答(企画課長)** 茂辺地、石別地区は週2回、月曜日と木曜日の運行で、朝8時半ごろに三ツ石のバス停を起点に、9時10分ごろに上磯駅に着くようなダイヤで、1日1往復を予定しています。